

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	みらいサポート 日和田事業所(児童発達支援)		公表日		令和8年 3月 12日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		必要なもの等、すぐ出し入れできるようにしている。活動の内容ごとに部屋を変えています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		必要に応じて個別に対応することができています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4			構造化は、お子様に合わせて行っておりま す。お子様の成長や特性に合わせて必要 に応じて改善していきたいと思ひます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		療育終了後に毎回消毒や換気を行って います。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		クールダウンができるスペースを必要に 応じて整えています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		毎日、打ち合わせを行い、様々な意見を出し合い業務改善に活かしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1		保護者の方のご協力のもと、実施させて いただきました。ご協力ありがとうございました。 今後、検討して決まったことを少しずつ 実践してまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4			今後必要に応じて検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		法人全体での研修参加や職員会議で支 援に関する情報を全体で確認する時間 を設け、スキルアップにつなげています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	2		今後、公表していく予定です。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4		利用開始時や毎年4月にニーズシートを 記入していただいたり、懇談時にニーズ をお聞きしたりして児童発達支援計画 を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		ガイドラインに明示された項目を設定し、 お子様の強みを活かして課題に取り組 めるような支援内容に設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		職員同士で意見を出し合い行っています。	お子様の思いを汲み取り、楽しみながら 苦 手なことにもチャレンジできるような プ ロ グ ラ ム を 考 へ て お り ま す。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		子どもの成長・内容を検討の上、様 々な活動を取り入れています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4		活動内容やお子様の様子をみなが ら個別と集団活動を取り入れています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		打ち合わせを行い、一日のスケ ジュー ル 確 認 や お 子 様 に つ い て 情 報 共 有 し て い ま す。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	療育終了後に打ち合わせを行い、議 事録 を 作 り、 参 加 で き な か つ た 職 員 に も 共 有 で き る よ う に し て い ま す。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		記録を個別にファイリングし、いつ でも確認し支援に活かせるよう行 って お り ま す。 ま た、 ア プ リ を 使 っ て 全 職 員 が 確 認 で き る よ う に し て い ま す。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		半年に一度、お子様の現状を考 慮し、 モ ニ タ リ ン グ を 実 施 し て お り ま す。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		お子様の送迎時に情報共有を行って い ま す。 当 園 に 在 籍 の お 子 様 は、 幼 稚 園 と 連 携 し、 療 育 の 観 点 か ら 保 育 活 動 の 支 援 を 行 っ て い ま す。	今後も必要に応じて支援会議を行って ま い り ま す。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		保護者の方の要望や状況に応じて、 情 報 共 有 を 行 っ て お り ま す。	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	-	-		
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	-	-			
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	-	-			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携		(31は、事業所のみ回答)				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		4		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		療育終了後、保護者の方へフィードバックをする時間を設けています。	保護者の方のご希望があれば面談の時間を設けて共通理解を深めてまいります。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		相談があった際は、職員間で話し合い、アドバイスができるようにしています。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時に丁寧な説明を心がけております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4		モニタリング時に確認していただき、同意を得て支援させていただいております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			必要に応じて、行ってまいります。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4			年に1~2回の保護者会を検討しております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		児童発達管理責任者を中心に対応しております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		サポートだよりなどを通して、情報発信しております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		個人情報の漏れがないよう十分に配慮しております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		分かりやすい言葉や絵カードや画像など視覚的にわかりやすく伝えるよう心がけております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3		必要に応じて、行ってまいります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		2か月に1回避難訓練を行い、避難の仕方を確認しております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		契約時に情報を共有しています。また、てんかんをお持ちのお子様には、同意書を記入していただき保管しております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		契約時に情報を共有しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			事例集を職員間で共有し、危険な箇所などの確認、対応の仕方を話し合っております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		講師を招いて、虐待防止についての研修を受けています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4			対象のお子様がいる場合は、組織的に決定し、個別支援計画に記載してまいります。	